

財務書類 4 表

市は総務省が示す「統一的な基準」による4つの書類(貸借対照表・資金収支計算書・純資産変動計算書・行政コスト計算書)を作成しています。一般会計と特別会計(簡易水道・下水道・農業集落排水事業特別会計を除く)、水道事業会計を加えた全体会計についてお知らせします。

■貸借対照表 (BS)

貸借対照表とは、平成 31 年 3 月 31 日現在において、市が保有している資産とそれをどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を計上し、右側に資産合計から負債合計を差し引いた純資産を計上しています。作成範囲は市の一般会計などに特別会計(簡易水道・下水道・農業集落排水事業特別会計を除く)と水道事業会計を加えた全体会計です。

※単位未満は四捨五入のため合計が一致しない箇所があります

貸借対照表 (バランスシート) の概要

資産		負債	
資産の部 (これまで積み上げてきた資産)		負債の部 (将来世代が負担する金額)	
固定資産 (有形・無形)		固定負債	
有形固定資産	691 億 95 百万円	・ 地方債	242 億 24 百万円
・ 事業用資産 (庁舎、学校、保育所など)	367 億 31 百万円	・ 退職手当引当金	43 億 52 百万円
・ インフラ資産 (道路、橋梁、公園など)	317 億 59 百万円	・ その他	5 億 26 百万円
・ 物品	7 億 5 百万円	流動負債	
無形固定資産	42 百万円	・ 一年内償還予定地方債	20 億 26 百万円
投資など		・ その他	3 億 94 百万円
投資および出資金	6 億 50 百万円	負債合計	315 億 22 百万円
基金など	27 億 33 百万円		
流動資産		純資産	
現金預金	23 億 85 百万円	純資産の部 (現在までの世代が負担した金額)	
基金	31 億 44 百万円		
未収金など	1 億 97 百万円	純資産合計	468 億 24 百万円
合計	783 億 46 百万円	合計	783 億 46 百万円

■資金収支計算書 (CF)

資金収支計算書とは、1年間の行政活動に伴う現金の流れを示す財務書類です。性質で区分して表示することで、市がどのような活動に資金を必要としているかを表します。

資金収支計算書の概要

前年度末資金残高 (A)	19 億 13 百万円
本年度資金収支額 (B)	4 億 26 百万円
・ 業務活動収支	7 億 33 百万円
(税金、補助金、人件費、物件費、 他会計への繰出、使用料収入など)	
・ 投資活動収支	-47 億 38 百万円
(公共資産整備支出、投資および 出資金など)	
・ 財務活動収支	44 億 31 百万円
(地方債、その他借入)	
本年度末歳計外現金残高 (C)	46 百万円
本年度末現金預金残高 (A)+(B)+(C)	23 億 85 百万円

■純資産変動計算書 (NW)

純資産変動計算書とは、1年間の市の純資産(貸借対照表の資産から負債を差し引いた残り)の増減を示す財務書類です。総額としての純資産の変動とどのような財源や要因で増減したかを表します。

資金収支計算書の概要

前年度末純資産残高 (A)	479 億 4 百万円
純行政コスト	291 億 67 百万円
財源	279 億 49 百万円
・ 税金等 (市税、地方交付税等)	
・ 国県等補助金	
本年度差額 (純行政コスト - 財源)	-12 億 18 百万円
資産評価差額、無償所管換など	1 億 38 百万円
本年度純資産変動額 (B)	-10 億 80 百万円
(本年度差額 + 資産評価差額・無償 所管換など)	
期末純資産残高 (A) + (B)	468 億 24 百万円